

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（通貨）
信託期間	2019年4月23日から2029年5月17日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として先進国通貨の外国為替証拠金取引に実質的に投資を行うことにより、安定的な収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主として、以下の投資信託証券に投資を行います。 ・Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio ・ユナイテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)
組入制限	・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。 ・デリバティブ取引の直接利用は行いません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として年2回決算時(毎年5月および11月の各17日、休業日の場合は翌営業日)に次の通り収益の分配を行う方針です。 (1) 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 (2) 分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないこともあります。 (3) 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づき運用を行います。

i Global Asset Management Co., Ltd.

あい・パワーファンド（愛称：iパワー）

第2期 運用報告書（全体版）

決算日 2020年5月18日

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てに預かり、厚く御礼申し上げます。さて、今般「あい・パワーファンド（愛称：iパワー）」は、去る2020年5月18日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも、お引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

あいグローバル・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区六本木一丁目6番1号

(お問い合わせ先)

お客様デスク Tel:03-6230-9011

(営業日の9:00~17:00)

www.igam.co.jp/

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配)	基準価額		騰落率	投資信託 証券比率	純資産 総額
		税金 分	込み 配金			
(設定日) 2019年4月23日	円 10,000		円 —	% —	% —	百万円 842
1期(2019年11月18日)	10,128		0	1.3	97.7	2,959
2期(2020年5月18日)	10,350		0	2.2	99.5	4,104

(注) 当ファンドには、その運用手法の特徴から、運用成果の比較対象となる適切な指標がないため、ベンチマーク等はありません。

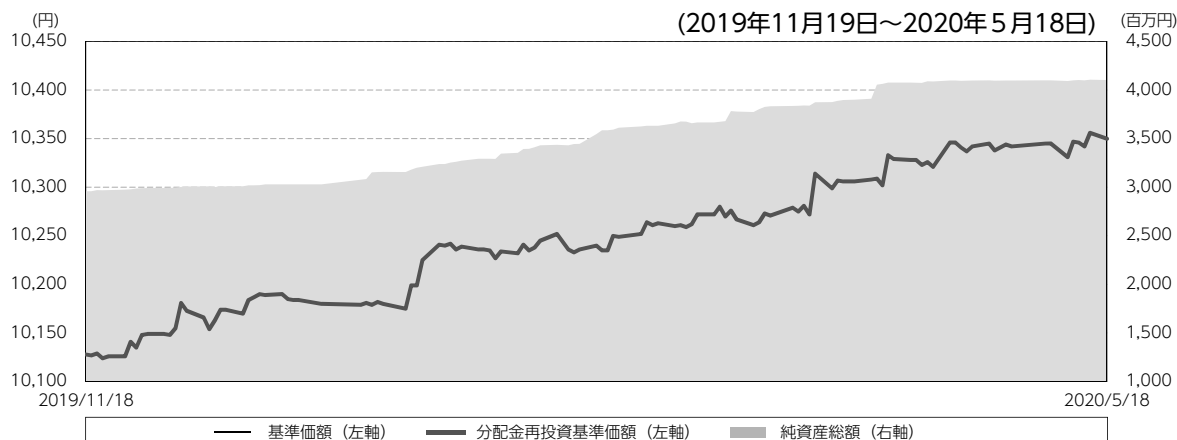
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		騰落率	投資信託 証券比率
		税金 分	込み 配金		
(期首) 2019年11月18日	円 10,128		円 —	% —	% 97.7
11月末	10,149			0.2	98.8
12月末	10,180			0.5	98.8
2020年1月末	10,234			1.0	95.6
2月末	10,263			1.3	98.3
3月末	10,307			1.8	97.9
4月末	10,344			2.1	99.4
(期末) 2020年5月18日	10,350			2.2	99.5

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過および今後の運用方針

(1) 期中の基準価額等の推移



第2期首：10,128円

第2期末：10,350円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：2.2%(分配金再投資ベース)

(注) 当ファンドには、その運用手法の特徴から、運用成果の比較対象となる適切な指標がないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

(プラス要因)

- ・主要投資対象ファンドである「Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio」の基準価額が上昇したこと

(2) 収益分配金

第2期の分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2019年11月19日～ 2020年5月18日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	349

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 「—」は該当がないことを示します。

(3) 当期の投資環境

(当ファンドは市場全体の方向性に左右されにくい運用をおこなっていますが、参考として先進国為替市場の動向について記載します)

1 ドル=108円台後半でスタートした米ドル/円市場は、アジアや欧州が新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済下押し圧力に晒される中で米国の相対的な優位性が意識されたこと等から2月下旬には1ドル=112円前半までドル高が進行しました。その後は、コロナの感染拡大によるニューヨーク州の非常事態宣言発令や原油価格の大幅安等から3月上旬に1ドル=101円台前半まで円高が進行したものの、コロナショックによるリスク資産の価格下落等から、ドルに対する旺盛な資金需要の高まりを背景にドル買い基調となりました。期末は1ドル=107円台半ばで終わりました。

1 ユーロ=1.10ドル台後半でスタートしたユーロ/米ドル市場は、米国で良好な経済指標が相次ぎ、ユーロ安が続いていましたが、米FRB(連邦準備制度理事会)の緊急利下げにより米長期金利が大幅に低下したこと等から、3月上旬に1ユーロ=1.14ドル台後半までユーロ高が進行しました。その後は、トランプ米大統領が欧州から米国への渡航制限を発表したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大が欧州主要国で深刻化したこと等から3月下旬には1ユーロ=1.06ドル台前半までユーロが売られました。

期末は、1ユーロ=1.09ドル台前半で終わりました。

1 ポンド=1.29ドル台半ばでスタートした英ポンド/米ドル市場は、1ポンド=1.3ドルを中心に概ね小動きで推移していましたが、3月に入ると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景としたリスク資産市場の大幅な下落などから、投資家や企業による流動性の高いドル買いの動きとなり、英国中銀が緊急利下げを行った3月下旬には1ポンド=1.14ドル台前半までポンドが売られる展開となりました。その後は、コロナウイルスの感染が米国で大きく広がるとドル売りが優勢となりポンドは反騰しました。期末は1ポンド=1.21ドル台後半で終わりました。

(4) 運用経過

○当ファンド

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。「Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio」を主要投資対象とし、同ファンドの高位組入れを維持して運用を行いました。作成期末時点での当ファンドにおける「Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio」の組入比率は98.6%、「ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）」の組入比率は1.0%となりました。

○「Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio」^(注)

運用会社グループが独自に開発したシステムティック取引モデルに基づき、先進国通貨（円、米ドル、ユーロ、英ポンドなど）の外国為替証拠金取引に投資する運用を行いました。

(注) STI JP Limitedが運用を行います。

○ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）^(注)

- ・作成期間を通してマザーファンド受益証券を高位に組み入れました。
- ・マザーファンドの債券組入比率は、設定・解約時を除いて高位で推移させました。
- ・マザーファンドでは公社債を中心に作成期間中5銘柄程度でポートフォリオを構築しました。

(注) ユナイテッド日本債券マザーファンドを主要投資対象としています。

(5) 今後の運用方針

当ファンドは、引続き、「Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio」の高位組入れを維持しながら、安定した収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年11月19日～2020年5月18日)

項 目	第 2 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 174	% 1.698	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(84)	(0.82)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(28)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.029)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（ 実 績 報 酬 ）	(59)	(0.576)	投信会社が受領するハイ・ウォーター・マーク方式による成功報酬額（資金の運用の対価）
(b) そ の 他 費 用	11	0.108	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(ー)	(ー)	海外における保管銀行等に支払う有価証券の保管および資金の送金・資産の移転等に係る費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.01)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(ー)	(ー)	目論見書・運用報告書作成、印刷および交付に係る費用
（ そ の 他 ）	(10)	(0.098)	計理業務費用、届出書類作成等費用、公告費用、法律顧問および税務顧問費用、その他費用・手数料等
合 計	185	1.806	
期中の平均基準価額は、10,246円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 「その他費用」には、信託財産に関する租税、信託事務の処理に係る諸費用（受益証券等の管理事務、印刷費用、公告費用、監査費用、法律顧問・税務顧問への報酬費用等）、それらに付随する消費税等相当額などを含みます。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

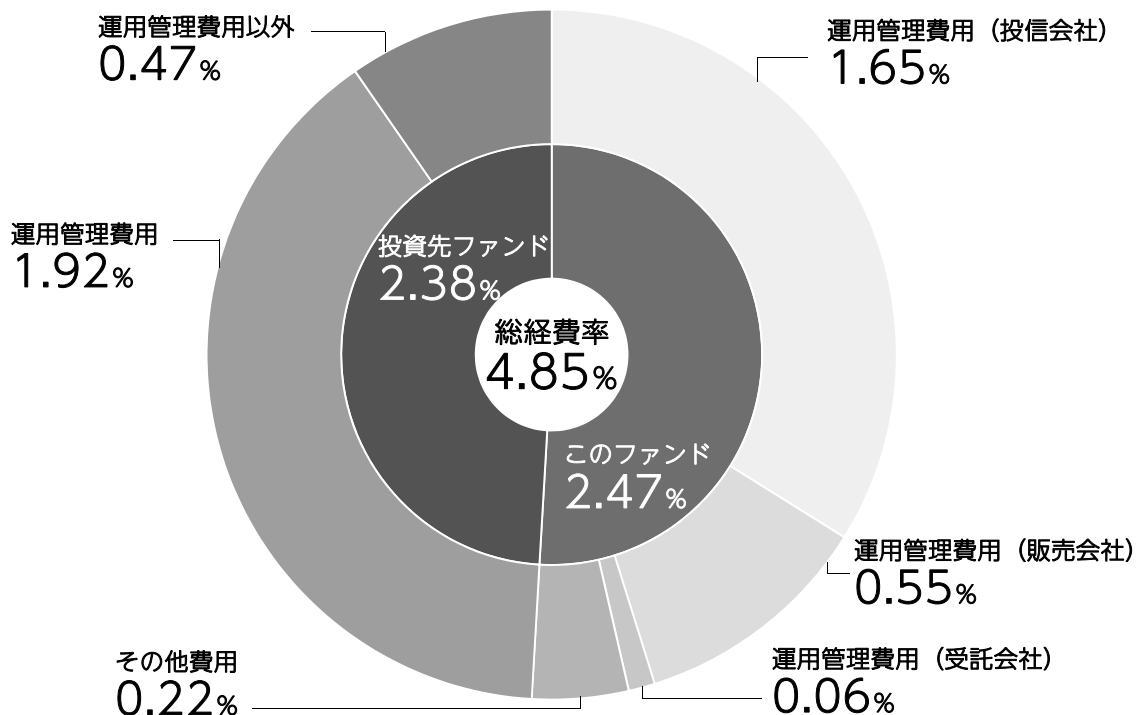
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) (ー)は該当がないことを示します。

(参考情報)

・総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.85%です。



総経費率 (①+②+③)	4.85%
①このファンドの費用の比率	2.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.92%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.47%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年11月19日～2020年5月18日)

投資信託証券

銘柄		第 2 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	ケイマン諸島	千口	千円	千口	千円
	Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio	99	1,055,000	—	—

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月19日～2020年5月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年11月19日～2020年5月18日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年11月19日～2020年5月18日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年5月18日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第1期末	第2期末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio	275	375	4,045,730	98.6
ユナイテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)	38,830	38,830	39,176	1.0
合 計	39,106	39,205	4,084,906	99.5

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2020年5月18日現在)

項 目	第2期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券及び投資信託受益証券	4,084,906	98.0
コール・ローン等、その他	83,268	2.0
投資信託財産総額	4,168,174	100.0

(注) 比率は投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年5月18日現在)

項目	第2期末
	円
(A) 資産	4,168,174,901
コール・ローン等	83,268,233
投資証券	4,045,730,655
投資信託受益証券	39,176,013
(B) 負債	63,455,852
未払信託報酬	59,658,853
未払利息	242
その他未払費用	3,796,757
(C) 純資産総額(A-B)	4,104,719,049
元本	3,966,018,525
次期繰越損益金	138,700,524
(D) 受益権総口数	3,966,018,525口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,350円

(注) 当ファンドの期首元本額は2,922,603,434円、期中追加設定元本額は1,091,442,843円、期中一部解約元本額は48,027,752円です。

(注) また、1口当たり純資産額は1.0350円です。

○損益の状況 (2019年11月19日～2020年5月18日)

項目	第2期
	円
(A) 配当等収益	△ 32,991
受取利息	25
支払利息	△ 33,016
(B) 有価証券売買損益	138,699,589
売買益	139,304,300
売買損	△ 604,711
(C) 信託報酬等	△ 63,455,629
(D) 当期損益金(A+B+C)	75,210,969
(E) 前期繰越損益金	20,246,494
(F) 追加信託差損益金	43,243,061
(配当等相当額)	7,571,182
(売買損益相当額)	35,671,879
(G) 合計(D+E+F)	138,700,524
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	138,700,524
追加信託差損益金	43,243,061
(配当等相当額)	7,571,182
(売買損益相当額)	35,671,879
分配準備積立金	95,490,454
繰越損益金	△ 32,991

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年11月19日～2020年5月18日)は以下の通りです。

項目	2019年11月19日～ 2020年5月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	75,224,630円
c. 信託約款に定める収益調整金	43,210,070円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	20,265,824円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	138,700,524円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	349.72円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

○お知らせ

約款変更について

2019年11月19日から2020年5月18日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

運用体制の変更について

2019年11月19日から2020年5月18日までの期間に実施いたしました運用体制の変更はございません。

Spectra SPC – Powerfund JP Segregated Portfolio

※ 現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、当ファンドの資産の状況は掲載しておりません。

投資対象とする投資信託証券の概要

ファンド名	Spectra SPC – Powerfund JP Segregated Portfolio
ファンド形態	外国投資信託証券（ケイマン籍、円建、会社型）
主要投資対象	外国為替証拠金取引
運用の基本方針	①先進国通貨の外国為替証拠金取引に主に投資します。 ②運用に当たっては、スポット裁定取引戦略を用います。 ③独自の取引モデルに基づき、自動取引を行います。
投資方針・特色	①原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 ②円資産で差入れられる証拠金については、外貨の対円為替変動の影響を受けません。 ③市場動向、資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
管理報酬等	管理報酬の総額は、信託財産の純資産総額に年率2.00%の率を乗じて得た額とします。 その他、信託事務の処理に関する諸費用、信託財産に関する租税、および信託財産の監査に要する費用などががかかります。
実績報酬	ありません。
事務管理 代行会社	Maples Fund Services (Cayman) Limited ※Maples Fund Services (Asia) Limitedに業務を委託しています。
運用会社	STI JP Limited

ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）

第18期

決算日 2020年3月25日

（計算期間：2019年3月26日～2020年3月25日）

○ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／債券
運用会社	あいグローバル・アセット・マネジメント株式会社
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ユナイテッド日本債券マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、主としてわが国の債券に投資します。 ・信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
主要投資対象	マザーファンドを主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券（マザーファンド受益証券は除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年3月25日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	72,749,783
コール・ローン等	1,818,346
ユナイテッド日本債券マザーファンド(評価額)	70,931,437
(B) 負債	390,515
未払信託報酬	80,197
未払利息	4
その他未払費用	310,314
(C) 純資産総額 (A - B)	72,359,268
元本	71,950,549
次期繰越損益金	408,719
(D) 受益権総口数	71,950,549口
1万口当たり基準価額 (C/D)	10,057円

(注) 当ファンドの期首元本額は41,827,348円、期中追加設定元本額は38,830,423円、期中一部解約元本額は8,707,222円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.0057円です。

○損益の状況（2019年3月26日～2020年3月25日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,111
受取利息	23
支払利息	△ 2,134
(B) 有価証券売買損益	△ 669,888
売買益	△ 669,888
(C) 信託報酬等	△ 1,184,190
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,856,189
(E) 前期繰越損益金	△ 2,486,318
(F) 追加信託差損益金	4,751,226
(配当等相当額)	(8,261,016)
(売買損益相当額)	(△ 3,509,790)
(G) 計 (D + E + F)	408,719
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G + H)	408,719
追加信託差損益金	4,751,226
(配当等相当額)	(8,261,016)
(売買損益相当額)	(△ 3,509,790)
分配準備積立金	670,972
繰越損益金	△ 5,013,479

(注) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○ 1 万口当たりの費用明細 (2019年3月26日～2020年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	22	0.213	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(11)	(0.107)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0.019)	口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(9)	(0.087)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	153	1.487	その他費用＝期中のその他費用／作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(ー)	(ー)	海外における保管銀行等に支払う有価証券の保管および資金の送金・資産の移転等に係る費用
(監 査 費 用)	(67)	(0.651)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(ー)	(ー)	運用報告書作成に係る費用
(そ の 他)	(86)	(0.836)	計理業務費用、法律顧問および税務顧問費用、その他費用・手数料等
合 計	175	1.7	
期中の平均基準価額は、10,290円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 「その他費用」には、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用(受益証券等の管理事務、監査費用、法律顧問・税務顧問への報酬費用等)、それらに付随する消費税等相当額などを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) (ー)は該当がないことを示します。

○組入資産の明細

(2020年3月25日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
ユナイテッド日本債券マザーファンド	千口 29,531	千口 54,811	千口 70,931	千円

ユナイテッド日本債券マザーファンド

第39期

決算日 2020年3月25日

(計算期間：2019年9月26日～2020年3月25日)

○ファンドの概要

運用会社	あいグローバル・アセット・マネジメント株式会社
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主としてわが国の発行する債券を中心に投資を行い、NOMURA-BPI総合指数を上回る運用成果を目指します。 ・わが国のファンダメンタルズ、金利動向などの分析・評価に基づき、デュレーションをアクティブに変更し、収益の獲得を目指します。 ・AA格以上の格付けを有する債券を中心に投資適格債券に投資し、信用リスクの低減を図ります。 ・債券の組入比率は原則として高位を保ちます。ただし、資金化への対応や投資環境を考慮した上で委託者が適切と判断した場合には、機動的に対応する場合があります。
主要投資対象	わが国の債券を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年3月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	70,930,153 円
コール・ローン等	1,480,137
公社債(評価額)	69,365,800
未収利息	84,216
(B) 負債	4
未払利息	4
(C) 純資産総額(A-B)	70,930,149
元本	54,811,404
次期繰越損益金	16,118,745
(D) 受益権総口数	54,811,404口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,941円

(注) 当ファンドの期首元本額は54,811,404円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円です。

(注) 2020年3月25日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・ユナイテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資向け) 54,811,404円

(注) 1口当たり純資産額は1,2491円です。

○損益の状況 (2019年9月26日～2020年3月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	528,769 円
受取利息	529,234
支払利息	△ 465
(B) 有価証券売買損益	△ 2,266,400
売買損	△ 2,266,400
(C) 当期損益金(A+B)	△ 1,737,631
(D) 前期繰越損益金	17,856,376
(E) 計(C+D)	16,118,745
次期繰越損益金(E)	16,118,745

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年9月26日～2020年3月25日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年3月25日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	60,000	69,365	97.8	—	83.4	—	14.4
合 計	60,000	69,365	97.8	—	83.4	—	14.4

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期				末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第319回利付国債 (10年)	1.1	10,000	10,227	2021/12/20	
第87回利付国債 (20年)	2.2	10,000	11,381	2026/3/20	
第127回利付国債 (20年)	1.9	20,000	23,911	2031/3/20	
第130回利付国債 (20年)	1.8	10,000	11,896	2031/9/20	
第145回利付国債 (20年)	1.7	10,000	11,949	2033/6/20	
合 計		60,000	69,365		